

保護者の皆様

学校教育アンケートの結果と考察について

平素は本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。さて、保護者の皆様にご協力いただいた『学校教育アンケート』の集計および結果の整理を行いました。児童アンケートについても同様に、調査結果の分析を行いました。それらをもとに下記の通り報告いたします。今後の学校教育に生かしていきたいと存じます。

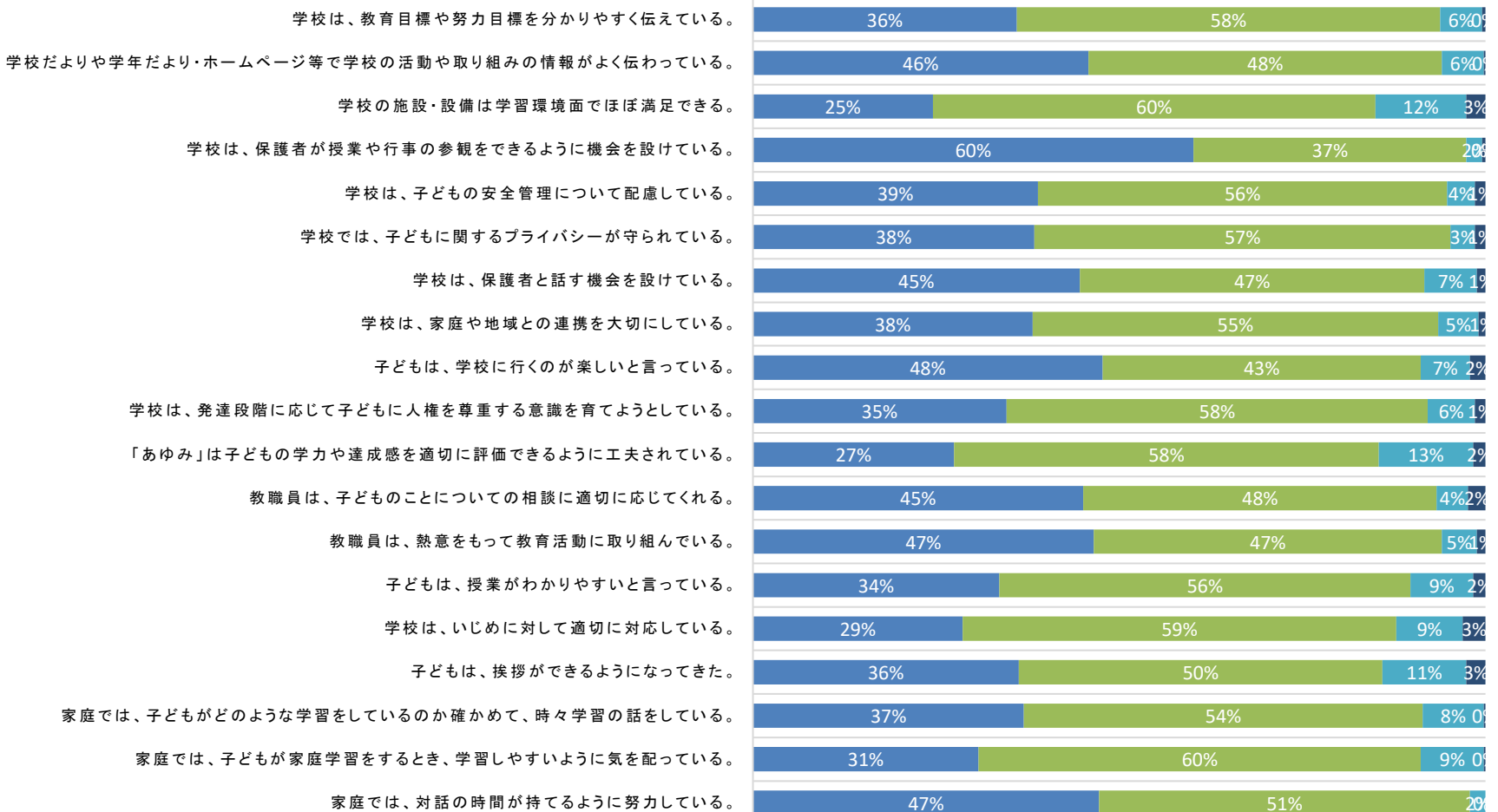
【北山田小学校の教育目標】

自立 自己実現に向かってすすむ	協働 同じ目的のためにともに力を合わせる
自ら気づき・学び・考え・行動する子ども 共感することができる子ども	表現することができる子ども 命を大切にする子ども

保護者のアンケートより

学校教育診断アンケート集計(保護者用)

■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない



【学校経営に関するもの】

今年度は4年ぶりに新型コロナウイルス感染症による制限がなく、さまざまな教育活動を行うことができました。制限がなくなったとはいえ、行事についてはコロナ禍の3年間の影響は大きく、子どもたちはもちろんのこと、我々教職員についても、本校のコロナ前の行事を経験しているものが少数となり、手探りの中での行事復活となりました。しかし逆に過去にとらわれすぎず、本当に子どもたちやその保護者にとって必要な行事や取り組みの形を改めて考えるいい機会ともなりました。

た。今年度は授業参観だけでなく、学校公開日を2回実施したことも「学校は保護者が授業や行事の参観をできるように機会を設けている」について、昨年度を大きく上回った肯定的評価をいただいたことにつながったと考察いたします。来年度は学校公開日のうち1回を日曜日に設定するなど、平日の来校が難しい保護者の方にも参観の機会を増やせるよう検討してまいります。

学校の施設・整備に関しては、昨年度に引き続き肯定的評価が9割を切る評価となりました。教職員による点検・修繕や、清掃活動など、安全面や衛生面での管理を行うとともに、関係機関にさらに働きかけて参ります。

その他の項目におきましても、肯定的評価が9割を超え、概ねご理解いただいていることに深く感謝いたします。今後も、引き続きご支持いただけるよう取り組んでまいります。

【教育活動に関するもの】

「子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている」等、日々の教育活動に関する項目のほとんどについて、9割以上の保護者の皆様に肯定的な評価をいただきました。昨年度に引き続き、今年度も学習や活動の中で、児童が対話を行う授業を意識し、子ども達同士を繋げていく機会を増やしましたが、「子どもは、授業がわかりやすいと言っている」の設問に11%の方から「あてはまらない」との回答があったことを受け止め、今後一層、わかる授業を行うこと、一人ひとりへのきめ細かい指導に努めてまいります。

「学校は、いじめに対して適切に対応している」では、88%が肯定的評価となり、昨年度より4ポイント低くなっています。「いじめ予防授業」の取組を始めて4年目となりますが、指導内容についてもさらに改善を図るとともに、「いじめ防止対策推進法」に則った吹田市及び本校の授業内容を保護者の皆様にもお知らせしてまいります。いじめを許さない明るく楽しい学校を目指し、全職員で取り組みを進めていきたいと思っております。

「『あゆみ』は子どもの学力や達成感を適切に評価できるように工夫されている」については、肯定的評価が85%にとどまりました。学年だよりや学級懇談会等において、観点別の評価の判断基準などをより具体的に分かりやすくお伝えするように努めていきます。

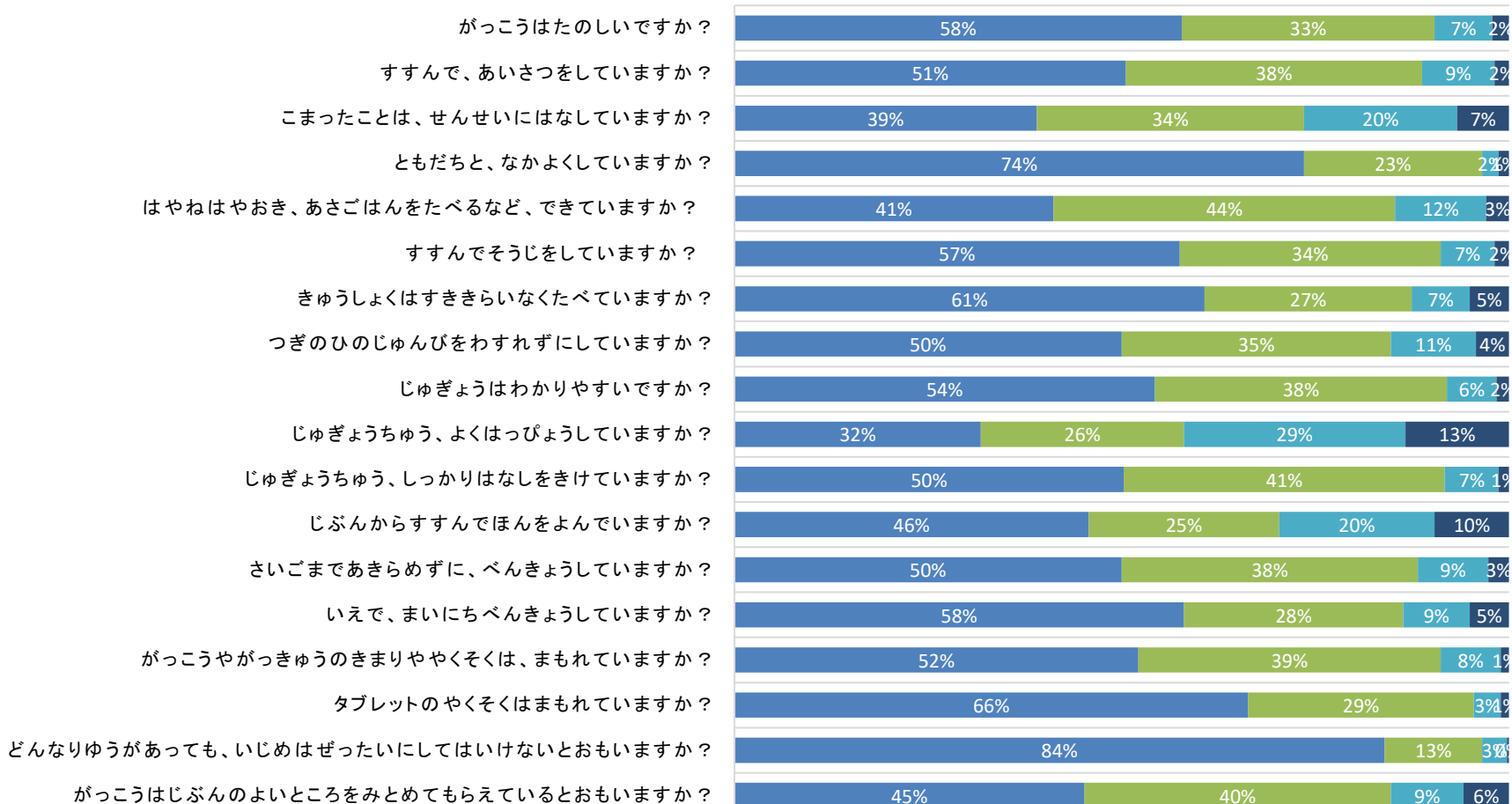
【家庭教育に関するもの】

教育活動の両輪として学校と家庭との協力・連携は不可欠であることから、昨年度に引き続き、今年度も家庭教育に関する項目にもご回答いただきました。3つの設問ともに肯定的回答が9割以上となり、子どもとの会話の時間を大切にいただいていることや、子ども達が学んでいる内容に関心を持ってご家庭で振り返っていただいていることなど、大変ありがたく思います。

児童のアンケートより

学校教育診断アンケート集計(児童)

■ そうおもう ■ だいたいそうおもう ■ あまりそうおもわない ■ おもわない



【学校生活に関するもの】

「ともだちとなかよくしていますか？」の設問に対し97%の児童が肯定的回答を行っています。しかしながら、「がっこうはたのしいですか？」の設問においては、9%もの児童が学校生活に不安を抱えていることがわかります。児童同士の関わりを深めさせ、一人ひとりが楽しいと思える学校になるよう、一つひとつの課題に対して丁寧に対応していきたいと思えます。

「どなりゆうがあっても、いじめはぜったいにはいけないとおもいますか？」の設問では、97%の子どもが肯定的回答を行っています。100%を目指し、すべての児童が「いじめは絶対してはいけない」ということを理解し、実践していくように「いじめ予防授業」を指導内容についてもさらに改善を図り、教職員や大人が人権意識を高め、日々関わっていきたく思います。

「がっこうはじぶんのよいところをみとめてもらえておもいますか？」と「こまったことは、せんせいにはなしていますか？」の項目についての肯定的回答はそれぞれ85%と73%にとどまりました。教職員が日頃からカウンセリングマインドを持ち、児童の良いところをしっかりと認めることや、行事や学校生活の中で、児童が互いに認め合える機会をさらに増やしていく必要があります。

「がっこうやがっきゅうのきまり」や「タブレットのやくそく」「すすんでそうじをしている」の3項目については9割以上の児童が肯定的回答を行っており、規律を守ろうと努力する子どもたちの姿がわかります。

「すすんで、あいさつをしていますか？」については学校だけでなく、家庭や地域と一緒に、児童が気持ちの良い挨拶ができるように指導を続けていきたいと思えます。

【授業・学習に関するもの】

「じゅぎょうちゅう、しっかりはなしをきけていますか？」については91%の児童が肯定的回答をしています。一方「じゅぎょうちゅう、よくはっぴょうしていますか？」について、4割以上の児童はあまりそう思わない・そう思わないと回答しています。このことから、友だちの意見については聞くことはできているが、自身の発表については消極的になっているのではないかと考察します。自分の考えをじっくり考えることができる発問の設定や時間の確保、安心して発言・発表できる環境づくりなど、授業に工夫を行っていきます。

「じぶんからすすんでほんをよんでいますか？」について 3割の児童が否定的な回答になっています。学校での読書環境を充実させ、読み聞かせボランティアさんの力も借りながら、児童が本に親しむ環境づくりを行ってまいります。

【家庭生活に関するもの】

早寝早起き朝ごはん・毎日の家庭での勉強などの「習慣的な事柄」について、15%程度の児童に良い習慣を身に付けさせる必要があることがうかがえます。次の日の準備などについても、自立及び自律してできるように、学校でも働きかけを行いますので、ご家庭でも励ましていただきますよう、ご指導の方よろしく願いいたします。

保護者自由記述より

自由記述にたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございます。あたたかなお言葉が多く、教職員一同大変励みになりました。多数ご記述いただきましたので、すべてを掲載できないことをご了承いただきますようお願いいたします。多かった記述内容等について、今後改善できることも含めて考察いたしました。

【学校行事・参観等について】

(運動会)

- ・運動会が春にあるのはいいと思う。秋はイベントが多いので、子どもたちが大変にならなくて済んでいると思う。
- ・運動会を半日での開催にしている点はとても良いと思う。
- ・今年から全学年での運動会となったが、やはり活気がありとても良かった。昼までの開催も、親子共に負担になりすぎずちょうどよいと感じた。
- ・運動会のときに、ほぼテントがないことが気になった。金銭面の問題があるのだと思うが、最近は暑すぎるから心配だなあという思い。

→運動会は本番当日だけではなく、その練習期間についても熱中症が危惧されるため、来年度も6月に半日の開催で考えています。日程が確定次第、お知らせいたします。児童見学席用のテントについては、PTAから寄付の申し出をいただきました。ありがとうございます。来年度もより安全で、子どもたちの負担の少ない形を考えていきます。

(音楽会)

- ・音楽会がとても感動的だった。
- ・音楽会の動画や、写真撮影が出来なくて残念。当日行けない家族も一緒に見たかった。
- ・演奏中にあえて動画撮影禁止にしている点が、親として集中してきちんと聴けて大きな拍手も送ることができ、すごくよいアナウンスだと感じた。
- ・様々な考慮や検討を重ねた結果だとは思いますが、音楽会は他の学年も、同学年も全クラス鑑賞したかった。
- ・音楽発表会は2部に分ける理由も理解できるが、姉弟間で部が違うと内容を知らない様で家での会話が弾まず可哀想だった。せっかく良い発表なので全クラス発表をみせてあげて欲しい。
- ・音楽会は2部に分けて開催され、工夫されていると思った。
- ・音楽会の選曲がやや歌謡曲に走りすぎかなと、合奏も個人技が目立つような楽器の割り当ても、学校という場ではどうなのかと少し思った。

→音楽会は感動したという感想を多数いただきました。それもあり「全クラス鑑賞したかった」「動画を撮りたかった」というご意見も多数いただきました。来年度にむけて検討させていただきます。

（参観・学校公開）

- ・学校公開は普段の姿を見られて良かった。
- ・学校公開日が1日あるのは、とても良かった。日頃の様子がよくわかり有り難かった。
- ・平日の参観だと、やはり父親が来られないご家庭もあるので、日曜参観を検討してほしい。

→普段の様子がわかる学校公開は、良かったというご意見を多数いただきました。来年度は平日の来校が難しい保護者の方のために、日曜参観を予定しています。

【学校だより・学級だより・配布物について】

- ・お手紙の電子化を進めていただいたので、外出先からも確認できて便利になり嬉しい。
- ・デジタル化（お便りや出欠連絡）して下さったのも助かる。
- ・学年だより、月間予定表はプリントで欲しい。子供と一緒にプリントで確認したい。
- ・ペーパーレス化は環境面からも賛成だが、給食の献立表と北山田通信（月間予定）は親子で見えるところに貼って頻繁に確認している為、従来通り印刷物で配布していただけると助かる。

→学校と家庭の連絡手段のデジタル化は概ね好評ですが、一部プリントの方が良いというご意見もありました。来年度からは「学校だより」のみ職員室前に数枚プリントを置いておき、欲しい方のみ自由に取りっていただけるようにしたいと考えています。

【施設について】

- ・運動場遊具があまりにも少な過ぎる。
- ・遊具が少ないので子供が積極的に外で遊びたくなるような遊具を作してほしい。
- ・トイレなども本当なら全部洋式にしたいくらいなのになあと。これもお金がかかるから現実的ではないんでしょうけどね。
- ・プールの更衣室をきれいにしてほしい。

→施設に関しては市の担当部局が市内の全公立学校に対して計画的に改修を行っているため、すぐに対応は難しいですが、老朽化等による修繕は、随時対応していただいています。また、運動場の遊具に関しては、来年度中に増設していただけると聞いています。

【iPadについて】

- ・タブレットを毎日持ち帰りというのは、ランドセルも重たいし、体への負担が気になる。
- ・子供が重いランドセルを背負う事が問題視されている中、重いタブレットを持って帰ってくる必要性が感じられない。持ち帰らなくてはいけないのか？タブレットを持ち帰らせるのであれば、持ち帰った人はほかの宿題を持ち帰らなくてもいいように、宿題がタブレットで全て完結するなどのような、形になっているとありがたい。
- ・せっかく iPad の個人配布があるのに、休んだときや長期休みのときの活用がなく残念に思う。行事の動画配信などがあると、参加できない保護者にも良いなと思った。
- ・iPad の持ち帰りを、毎日必須ではなく、課題のある場合に限ってほしい。一定時間を経過すれば自動的に使えなくなる機能等があればよいが、今の状態では保護者不在時の管理が難しく、長時間の使用による視力低下が心配である。

→iPadの毎日の持ち帰りの必要性について疑問視するご意見を多数いただきました。国や市からは、授業ではもちろんのこと、家庭学習についても積極的に一人一台端末の活用を進めていく方針が示されています。本校でのiPadの使用については、毎日の授業や学校生活など様々な場面で活用しているところですが、家庭学習での活用については、担任・専科教員によって偏りがあるため、来年度にむけて、家庭学習での活用法についても学校で研究していきます。

【その他】

- ・学校の行事やクラス単位での行事をタブレットなどで配信していただけると学校での自然体な様子など、子供達の関係性やクラスでの雰囲気など色々な事がわかるかと思う。
- ・学校行事が多いので、児童および学校側の負担削減のために減らすのがよいと思う。行事を減らす代わりに、保護者などが授業など普段の様子をいつでも見られる開かれた環境が好ましいと思う。
- ・わからない、と言う回答がないためアンケートとして成立しないと思う。
- ・販売いただく写真の単価が高すぎると思う。
- ・親と担任が話す機会をもっと設けて欲しい。
- ・目標をたてて、達成したら先生が子供をきちんと褒めて欲しい。ダメな事をしてしまったらきちんと叱って欲しい。
- ・休みが長くなった時など、わざわざお友だちに連絡袋を持ってきてもらうのも申し訳ないので、ホームページやさくら連絡網などで、必要な人が必要な時に確認出来るシステムがあれば嬉しい。
- ・在籍調査を何度も依頼するのはやめて欲しい。
- ・子どもの権利、人権が守られない場に直面した。深く傷つき、信頼をなくした。まず子どもや親当事者の声を聞いてほしい。
- ・画一的に宿題を科すのではなく、自分が苦手だと感じていることを自ら学習する方が、子供のためにも、先生の業務量の軽減にも役立つのではないか。

→たくさんの貴重なご意見、ありがとうございました。今後のよりよい学校運営のための参考にさせていただきます。